

第1回 精神分野 作業療法研修会

2020年 2/8 土
参加費 2000 円
非会員 4000 円

13:20~14:20
コミュニケーション・
面接編

講義①
対話を促進するオープンクエスチョン
～OT面接に役立つホワイトボードミーティング®～
医療法人社団東峰会 就労支援 Small Steps

作業療法士 馬場 麻里子

東加古川病院、関西青少年サナトリューム作業療法室勤務の後、就労支援事業所開設。現在に至る。ホワイトボードミーティング®認定講師。

14:30~16:30
基礎知識・
トピックス編

講義②
大人の発達障害
～本人の困り感と周囲のサポート～
医療法人社団邦秀会 代々木の森診療所

院長 大下 隆司

社会人経験後、医学部に入学し、精神科医になる。神戸大学付属病院、都立墨東病院、明石土山病院、東京女子医科大学病院に勤務し、現在に至る。子どもから大人まで幅広く診療している。

専門；臨床精神薬理、心理教育、児童青年精神医学

締め切り 2月3日(月)

会場

新長田勤労市民センター 講習室2 (<https://www.kobe-kinrou.jp/shisetsu/shinnagata/>)

申し込み方法

兵庫県作業療法士会 ホームページからお申込みください。



精神分野作業療法委員会 発足しました！

兵庫県士会での委員会発足の経緯は、2018年度に行われた日本作業療法士協会の47都道府県委員会での精神科ワーキング報告がきっかけとなっています。

その内容は・・・

- ・就労支援、地域移行・地域定着支援に関与できていない
- ・個別的関わり、急性期に対しての取組ができていない
- ・精神科OTに何ができるのか、何をしようとしているのかが見えない
- ・若い会員が刺激や危機感に乏しい環境で埋もれていく
- ・士会の活動、研修に出てこない
- ・士会・協会<精神科OTのネットワーク（勉強会・集まり）
- ・病院経営のための作業療法になっている（収益重視）
- ・集団、プログラムで提供するものという固定観念に囚われている
- ・院内寛解を目的に漫然と行われている



・・・というものでした。

そこで、兵庫県士会でも精神分野ワーキングを立ち上げ、6名で活動をスタートさせました。

まずは、ヒアリングにて、今の精神科作業療法の現状を聞いてみました。その結果は、個別の対象者への関わりの時間はなかなかとれず、日々の業務に追われる、病院の中でのOTの立場、コミュニケーション（対象者、他職種）、自分への不安感（そわそわ・・・）などが伝わる一方で、対象者への興味や職場教育への期待、学びたいという気持ちが伝わってきました。

また、精神分野の作業療法士は病院だけでなく、就労支援、訪問支援、などでも活躍の場が拡がっています。

委員会のミッション！！

- ✓ 精神障がい者を対象にしている作業療法士ならだれでも、同じ知識、情報、技術を持てるような研修会パッケージを作る（児童～大人～高齢者）
- ✓ 精神障がい者を含めた地域包括ケアシステムに対応できる作業療法士の養成



イラスト：馬場麻里子 (Small Steps)

研修会は、毎回、3つのコンセプト（プログラム・治療編、コミュニケーション・面接編、基礎知識・トピックス編）から内容をパッキングし、開催します！

研修内容は、精神分野以外の作業療法士にも役立つ研修会を考えています。

地域共生社会、地域包括ケアシステムは精神障がい者への対応も求められています。